

インナー大会プレゼン部門 2017 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名 (フリガナ)	学部名 (フリガナ)	所属ゼミナール名 (フリガナ)
フリガナ) トウヨウダイガク	フリガナ) ケイエイガクブ	フリガナ) ナカノゼミ
東洋大学	経営学部	中野ゼミ

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入してください。

チーム名 (フリガナ)	代表者名 (フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 動画 (有・無)
フリガナ) シーチーム	フリガナ) ノキグチュウタ	4人	無
C チーム	軒口裕太		

※プレゼンツールを使用する場合は記入してください。記入がないプレゼンツールは大会当日使用できません。

使用するプレゼンツール (具体的に使用するツールを明記してください)

研究テーマ (発表タイトル)

求める人材獲得へ ～家事代行サービス業界で働こう～

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要 (目的・狙いなど)

現在、家事代行サービス業界は利用者や企業数が増加し、将来家事支援サービス企業の市場規模は 6000 億円になるといわれております。しかし、日本経済新聞(2017)によると、家事代行サービス業界は慢性的な人手不足であり、家事代行業界最大手であるダスキンは外国人を登用し対策をしています。現在では、外国人によるサービス提供は限られた特区でしか行えない制限がなされています。現状のリサーチに加えて、家事代行サービス業界と家事代行サービス業界に所属している 2 社にインタビューを行った結果、家事代行サービスは利用者や企業数が増加したことで人手不足になっており、企業は 50 代や 60 代の高齢者層まで人材の年齢層を高めて人手不足に対処していることが分かりました。しかし、実際に企業が求めている人材は主婦層であり、その主婦層は業界内だけでなく他業界も求めているため、人材獲得の競争が激化し、獲得できていないことがわかりました。さらに、厚生労働省(2016)の調査によると、未子の年齢階級別にみた母の仕事状況は未子の年齢が上がるほど専業主婦の割合は低くなり、子供の年齢によって主婦層の中でも働いている人と専業主婦との割合が異なっていることが分かりました。企業は求めている主婦層に対してアプローチをする際に、働いている人による紹介制度のみが見受けられ、十分な対策が行われていないことが明らかになりました。そこで、私たちは幼い子供を持つ主婦は専業主婦の割合が高い点に着目し、幼い子供を持つ主

婦に対してアプローチをすることで、企業が求めている主婦層を獲得できると思います。提案をさせていただきました。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

本研究の現状として、家事代行サービスの市場規模が上昇し、企業数も増加しています。家事代行サービス業界でも、富裕層をターゲットにしている企業やシェアリングエコノミーを活用した企業など様々な企業が存在しています。サービス当初は定期的にご家庭にお伺いサービスを提供するのが基本でしたが、定期ではなく1回のみからでもサービスを受けられるようサービス形態が変化しています。単身世帯や共働き世帯、高齢者世帯が増加したことが利用者増加の要因になっていると推測されています。現在、家事代行サービス業界は慢性的な人手不足であり、企業が求めている主婦層は人材獲得競争が激しく、50代や60代といった高齢者と呼ばれる層の人たちまで年齢層を上げて求人を行い、対策を行っております。しかし、家事代行サービス業界が求めている人材は主婦層であり、働いている従業員の紹介制度しか具体的な対策をとれていないことが明らかになりました。子供がいる主婦は、子供の年齢が低いほど専業主婦の割合が高く、年齢が高くなるにつれて就業率が高くなることがわかりました。現在働いていない主婦は、今後働くときに家事や育児、プライベートを両立できる程度に働きたい、家計の足しにしたいと思っていることが明らかになりました。これは、家事代行サービスの特徴である高時給なおかつ勤務時間を柔軟にすることができるという2点のことがマッチしていると考えました。

3. 研究テーマの課題

インタビューの結果から、家事代行サービス業界は主婦層を人材として求めているが、主婦層は他の業界も求めている人材で競争が激しいことから求めている人材を獲得することが困難な状況であるということが明らかになりました。企業も広告をして求人をしていますが、サービス当初の時期に比べて様々な働き口があるため、広告の効果は弱くなっていることがインタビューからわかりました。さらに、求めている主婦層を獲得するための対策が、働いている人を活用した紹介制度しか見受けられず、具体的な対策があまりとられていないことがわかりました。そのため、求人の年齢を50代や60代など的高齢者と言われる年代層まで引き上げていることで対策をとっていることが明らかになりました。しかし、既存の働いている人たちからの紹介では限界があり、働いている人が高齢化していけば紹介制度で主婦層をとることも困難になることが考えられます。本研究の課題として、家事代行サービス業界は人手不足であり、家事代行サービス企業は主婦層を求めているが競争が激しく獲得できていない、具体的な対策がとられていないことが挙げられます。しかし、子供がいる主婦の中でも子供の年齢が高いほど主婦は仕事をしている割合が高く、専業主婦の割合が低くなっていくことがわかり、子供がいる主婦でも子供の年齢によって就業率が異なることが明らかになりました。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

そこで私たちが考えた提案は、3歳になり幼稚園へ行き始め少し自分の時間ができた主婦層を取り込むためにイベントを行うというものです。現在、幼稚園へ行く準備として2歳児を対象にしたプレ幼稚園というものを行う幼稚園が増えていきます。プレ幼稚園とは幼稚園で行われることとほぼ同じ内容を2歳児の子に体験してもらうものです。最初は保護者同伴で行われますが、最終的には保護者の付き添いなしで行われるものが多く、私たちはそこで空いた時間にママさん向けに家事代行サービスを知ってもらうきっかけになるようなイベントを開催したいと考えております。内容は3つあり、1つ目は家事代行サービスで働く先輩ママ相談会、2つ目は実際に家事代行サービスで行われている料理の講習、3つ目は実際に家事代行サービスで行われている掃除の講習です。1つ目の家事代行サービスで働く先輩ママ相談会に関しては、家事代行サービス企業で働いていて幼稚園や小学校に通っている子供がいる主婦に家事や育児についての悩みを聞き、家事代行サービスで働く際の1日のスケジュールの紹介を行います。2つ目の料理に関しては、公民館を借りて、家事代行サービスで提供されている保存食や季節の料理などを作り、作った料理を食べながらママさん同士コミュニケーションを取っていただこうと考えております。3つ目の掃除に関しては、実際に公民館をお借りして普段悩んでいた掃除についてアンケートを取り、その結果に応じてやり方やコツを実演で出来るものは実演し、実演出来ないものはその場でコツを伝授したり、映像を用いたりして説明しようと考えております。さらに、実際に仕事として掃除をしている映像などを流し、家事代行サービス業界の詳しい業務内容を知っていただこうと考えております。その他にもママさん同士の新たなコミュニティを提供することができ、育児や家事の悩みも相談できるような場にする事でママさん側にも多くのメリットが生まれるような仕組みになっております。この提案により、家事代行サービス側は20代~40代という最も求めている層にパートとして働くという選択肢を与えることができ、ママさん側は育児や家事と両立しやすい職を見つけることができ課題解決になるのではないかと考えております。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

家事代行サービスの人手不足の現状およびどのような課題点があるのか知るためにインタビューを行いました。

概要 インタビュー先 一般社団法人家事代行サービス協会(7月18日 15:00～16:00)

家事代行サービス協会に所属する企業 ミニメイド・サービス株式会社(7月18日 16:00～17:00)

ミッシェル・ホームサービス株式会社(8月10日 10:00～11:30)

6. 結果や今後の取り組み

家事代行サービスの現状は市場が拡大してきており、企業数が増加することで人材獲得競争が激しくなると考えられます。中でも家事代行サービス業界の獲得したい人材は主婦層です。しかし、インタビューから主婦層は他業界とも人材獲得競争が激しいということ。また、主婦層の獲得について紹介制度しか行っていないため、アプローチが不十分であることが分かりました。また、厚生労働省(2016)によると、比較的子供が小さいと働いていない主婦が多いことが分かりました。そのため、主婦層の中でも子供が小学校に入る前にアプローチをかける必要があります。そこでプレ幼稚園という専業主婦やパート・アルバイトが多い状況でアプローチをかける提案にしました。私たちの提案を行うことによって、家事代行業界の仕事内容が分からない人や仕事と育児の両立について不安があるという主婦の問題を払拭することができ、家事代行サービス業界が効率的に仕事をするということが伝えることができます。その結果、働くことに対しての主婦の抱える問題を解決することができ、企業が求めている人材である主婦層を家事代行サービス業界は獲得することができます。今後はこの提案を実行し継続をさせるために、企業と幼稚園に実施していただけるよう私たちの考えを提案したいと考えております。

7. 参考文献

エン・ジャパン(2015)「子どもを持つ女性の「働く」意識調査。就業意欲の高さと就業率のギャップを埋める方法とは？—『女の求人マート』ユーザーアンケート集計結果—」

<https://corp.en-japan.com/newsrelease/2015/3039.html> 2017年9月20日閲覧

株式会社ベアーズ(2017)「沿革」

<http://www.happy-bears.com/company/history.html> 2017年5月18日閲覧

株式会社ベアーズ(2017)「パート求人のベアーズジョブ」 <http://www.bearsrecruit.com/>

2017年9月24日閲覧

株式会社ダスキン(2017)「沿革」

<http://www.duskin.co.jp/company/history/index.html> 2017年5月18日閲覧

株式会社カジタク(2017)「会社概要」

<http://www.kajitaku.com/aboutus/> 2017年5月18日閲覧

長谷川興産株式会社(2017)「スタッフ募集」 <https://www.myclass.jp/recruit/>

厚生労働省(2016)「国民生活基礎調査の概況 I 世帯数と世帯人員の状況」

<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-tyosa/k-tyosa16/dl/02.pdf> 2017年9月21日閲覧。

ミニメイド・サービス株式会社(2017)「会社概要」

<https://minimaid.co.jp/company/> 2017年5月18日閲覧

ミニメイドサービス株式会社(2017)「採用情報」

<http://recruit.minimaid.co.jp/> 2017年9月20日閲覧

ミッシェル・ホームサービス株式会社(2017)「会社案内」

https://www.michell-hs.co.jp/company_guide/ 2017年5月18日閲覧

日本経済新聞(2017a)「外国人による家事代行始動 ダスキン、人材確保の切り札」

http://www.nikkei.com/article/DGXLASHD17H2J_X10C17A4000000/ 2017年6月9日閲覧

日本経済新聞(2017b)「家事代行、職員採用を拡大 需要急増で人手不足 ベアーズ年内に6割増800人カジェ、3倍超5000人目標」<https://www.nikkei.com/article/DGKKZO12752110Z00C17A2TI5000/> 2017年9月25日閲覧

NTTタウンページ「家事代行サービス登録件数 No.1 は、滋賀県！～「家事代行サービス」の都道府県分布と登録件数推移～」http://tpdb.jp/townpage/order?nid=TP01&gid=&scrid=TPDB_GG11 2017年5月18日閲覧

お手伝いおそうじ宅急便 HP (2017)

<http://www.sumitate.co.jp/service/osouji/news.html> 2017年5月18日閲覧

タウンワーク (2017)「東京都のアルバイト・バイト・パートの平均時給」 <https://townwork.net/tokyo/jikyuu/>

2017年9月1日閲覧。

全国家事代行サービス協会(2017)「家事代行サービスとは」

<http://kaji-japan.com/service.php> 2017年5月18日閲覧

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、インナー大会・東京経済大学大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経BP

マーケティング社様に作製していただく大会結果 HP に本企画シートは掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1〜7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4 ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、4 ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の(過去に他誌・HP などに発表されていない)ものに限ります。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先(使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など)を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※プレゼンツールを使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ ここまでを 4 ページ以内におさめて、提出してください